

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

重要な会計方針は次のとおりである。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ① 満期保有目的の債券は、償却原価法（定額法）によっている。
- ② その他有価証券（株式）で時価のないものは移動平均法に基づく原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

リース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金は、事業年度末における奨学貸与金返還滞納金のうち、5年を越えて返還金の入金のない者に係る滞納金全額を計上している。
- ② 退職給付引当金は、期末要支給額に相当する金額を計上している。

(4) リース取引の処理方法について

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理は税込方式によっている。

(6) その他

特定資産・50周年記念行事積立資産については、「設立50周年記念行事準備資金取扱規程」に基づき、積立限度額の20,000千円のうち2017年度から2019年度の3カ年で15,000千円(5,000千円/年)の積立を行ってきたが、開催を見送ることとなったため、2020年度は積立を行わず、当該積立資産の取崩しを行っている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	5,957,776,837	490,458,949	490,000,000	5,958,235,786
小計	5,957,776,837	490,458,949	490,000,000	5,958,235,786
特定資産				
退職給付引当資産	41,373,900	1,633,200	20,146,200	22,860,900
修学助成資金積立資産	239,072,277	130,547,912	48,525,354	321,094,835
50周年記念行事積立資産	15,000,000	0	15,000,000	0
奨学貸付金	292,874,570	0	32,513,650	260,360,920
貸倒引当金	△ 65,697,020	△ 5,253,400	0	△ 70,950,420
小計	522,623,727	126,927,712	116,185,204	533,366,235
合計	6,480,400,564	617,386,661	606,185,204	6,491,602,021

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	5,958,235,786	(49,000,000)	(5,909,235,786)	—
小計	5,958,235,786	(49,000,000)	(5,909,235,786)	—
特定資産				
退職給付引当資産	22,860,900	—	—	(22,860,900)
修学助成資金積立資産	321,094,835	(190,949,856)	(130,144,979)	—
奨学貸付金	260,360,920	—	(260,360,920)	—
貸倒引当金	△ 70,950,420	—	(△ 70,950,420)	—
小計	533,366,235	(190,949,856)	(319,555,479)	(22,860,900)
合計	6,491,602,021	(239,949,856)	(6,228,791,265)	(22,860,900)